

## 2020年3月議会報告

消費税増税、新型コロナウイルス感染拡大の影響は深刻

市民の願いをいかし

くらしを支える市政に全力を！

3月定例市議会（2月20日から3月18日）は、新年度予算などの市長提出議案26件、議員間の協議により提案された議会改革関連議案2件を可決しました

（新事業・議会改革は2・3面）。

### 党市議団の論戦

本会議で党市議団は、一般会計予算や市政全体にかかわる代

した（代表質問、及び質疑等の詳細は4面）。

### コロナウイルス感染症と議会、党市議団の対応

今議会、党市議団は、議長の要請を受け、一般質問を通告しませんでした。新型コロナウイルスの感染防止や安倍政権による突然の「休校」要請に対応する市執行部に配慮した判断です。新型コロナウイルス対策については、市長、教育長あてに要望書を提出。感染防止の徹底、相談窓口充実や事業者への支援、情報発信の充実などが内容です。

## 未来を拓くくらしを支える

### 3月市議会・よりたか市長が表明

萩高市長の「あったか市政」第2ステージがスタート。萩駅へのホームドア設置やコミュニティバスがらつとわらびのルート拡充など、大きく動き出しています。

施政方針では、「未来を拓く」をテーマに、マニフェストなどの推進を図りつつ、「防災」と「教育」をキーワードに2つの重点事業と未来への3大プロジェクト

クトを進めると強調しました。また、日本共産党の代表質問に対する答弁では、消費税の増税や新型コロナウイルスについて「影響ははかり知れない」との見解を表明。「第2ステージは、くらしを支え、市民の皆さんと心通い合う『あったか市政』の継続発展が基本。その上で、未来への事業にも取り組む」と強調しました。



日本共産党市議会議員団 萩市役所庁舎前にて  
左から武下涼、山脇紀子、鈴木智、宮下奈美の各議員

### 【市役所新庁舎完成は2023年】

市役所庁舎の建替えに向けた取り組みがすすんでいます。計画では、新年度に新庁舎の詳細設計を検討。また、市役所機能は今年秋に仮設庁舎・仮庁舎へ移転し、その後、現庁舎解体、新庁舎建設工事が行われます。完成は3年後、2023年中の供用開始の予定。

## 新型コロナウイルス 対策と影響 みなさんの声をお寄せください

休校・自粛の影響、検査・医療体制など  
ご意見、ご相談をお寄せください。

メールアドレス：info@jcp-warabi.jp  
ファックス：444-6531



# 日本共産党萩市議団ニュース

## 3月市議会報告

2020年4・5月号

TEL 443-8332  
FAX 444-6531

市会議員

鈴木 智 ☎444-6957 山脇紀子 ☎446-3129  
宮下奈美 ☎211-0922 武下 涼 ☎070-6962-0841  
ホームページアドレス  
http://www.jcp-warabi.jp  
メールアドレス info@jcp-warabi.jp





# 2020年度 市民の願いがつつまじた予算が成立

## 安全安心のまちへ

- ◆ 市役所新庁舎建設の基本設計・実施設計（庁舎の解体、仮庁舎への移転）
- ◆ 消防署塚越分署の新庁舎（7月末の完成予定）
- ◆ 防災行政無線デジタル化（来年度にメール、電話、ファックスなどで情報提供する機能を追加）
- ◆ 中学校3校の体育館空調設備設置へ設計（工事は来年度）
- ◆ 蕨駅のホームドア供用開始（2月29日から）
- ◆ 市民公園の大型遊具リニューアル、5つの公園の長寿命化計画策定、公園灯のLED化



蕨駅に設置されたホームドア

## みんなにわたがらまちへ

- ◆ 認可保育園等の増設（民間認可保育園1園、小規模保育園へ2園）
- ◆ 塚越地域に民間留守家庭児童指導室を開設
- ◆ 35人学級の対象は、西小3年、中央東小3・5・6年、塚小4年の計5学年。
- ◆ 児童・生徒に1人1台のパソコン整備（今年度、小学5・6年生と中学1年生、特別支援学級）
- ◆ 校内無線LAN整備等）
- ◆ 手話言語条例制定にむけ、手話通訳者養成準備コースを新たに開設
- ◆ 高齢者運転免許証の自主返納への支援（65歳以上の免許証返納者にタクシー券または国際興業バス回数券を配布）
- ◆ 第三地域包括支援センターの公募（塚越地域に来年度開設予定）



蕨錦町ゆたか保育園（4月開園）

## 快適でやさしいまちへ

- ◆ ぷらっとわらびの4路線運行開始（3月27日）
- ◆ 受動喫煙防止の推進（5月に西口喫煙所撤去後、見回り強化と路面シートを増設）
- ◆ 商店街街路灯電気料を100％補助
- ◆ 住宅リフォーム助成制度
- ◆ 多文化共生のまちづくり推進へ（指針策定に向けた外国人も含めた意識調査や検討組織の立ち上げ）
- ◆ 歴史民俗資料館に河鍋晩斎美術館の紹介コーナーを設置

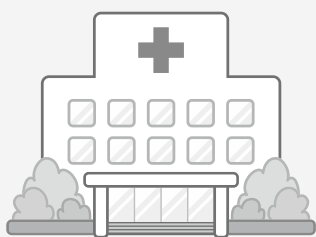


コミュニティバスぷらっとわらび

### 市立病院の充実・発展こそ

#### 市民の願い

昨年、厚生労働省は、「再編・統合の議論が必要」な病院として、蕨市立病院を含む約440の公立公的病院の名前を公表。実情を無視した乱暴なやり方に「努力を無視するもの」など批判が広がっています。党市議団は、救急、周産期、小児等、市立病院が地域で果たしている役割を強調。充実発展こそ市民の願いと訴えています。



### 国の制度改悪などが影響

#### 国保税率を見直し

20年ぶりに国保税率を引き上げる条例改正。年々増加する医療費に加え、国の制度改悪の影響によるものです。特に、市民負担を抑えるための市の努力（一般会計から国保会計への繰出金の一部）を「赤字」と決めつけ「削減」を押し付けていることは重大です。国政を変える運動と世論が必要です。

なお、改定には、「市民への影響は最小限に、県内で最も低い国保税水準を守る」とした党市議団の要望が反映されました。

### 議会改革がすすむ

#### 「費用弁償」廃止など

議会改革として議論してきた2つの議案が可決されました。

一つは、予算決算常任委員会の設置、もう一つは、議員が議会に出席する度に交通費などの費用として支給される「費用弁償」の廃止です。費用弁償については、支給の根拠が曖昧であり、長年、党市議団は廃止を提案してきました。

また、党市議団が主張してきた政務活動費の情報公開では2019年度分より領収書も含め全て公開。ホームページ上にも掲載されます。

悩み・困りごとは  
日本共産党にご相談ください

事務所 ☎443-8332 FAX444-6531



鈴木さとし



やまわき紀子



宮下奈美



武下 涼



昨年10月の消費税増税以来、消費は冷え込み、暮らし、経済の状況は深刻です。こうした中、「あつたか市政」の役割は重要であり、災害や新型コロナウイルス感染症への対応、気候変動・温暖化対策、ジェンダー平等など今日の課題でも、対応が求められています。

### 暮らしを支えるあつたか市政

【鈴木】暮らしを支える課題について、どのような位置づけか。

【頼高市長】 消費税増税後のGDPの落ち込みは、消費低迷が最大の原因。新型コロナウイルスの問題もあり、影響は計り知れない。「あつたか市政第2ステージ」は、暮らしを支え、市民と心通い合う「あつたか市政」の継続発展が基本。

その上で、未来に向けた事業にも取り組む。市民に最も身近な自治体として、市民の福祉の向上、暮らしを守るという原点がますます求められているという立場から、市政運営に当たる決意。

### 財政状況について

【鈴木】借入金の現状は。

【総務部長】 2020年度末の借入金残高合計の見込みは、約29

8億8400万円（臨時財政対策債を除き175億5300万円）。

2018年度比で3億1200万円増。市長就任時比で64億2500万円減。当面、多額の事業費を要するため借入金合計は増加。

【鈴木】この間の財政健全化が、必要な事業を可能にしたと理解。

### 新型コロナウイルス対策

【鈴木】感染防止の対応は。

【市民生活部長】（2月28日現在）

危機対策会議を3回にわたり開催。感染が疑われる人の要件や予防対策、県相談窓口について市ホームページ等で周知した。また、感染予防のため、市主催のイベントや集会を中止・延期する基準を設定し、該当イベントを中止した。

【鈴木】地域経済への対策は。

【市民生活部長】「中国からの納入が遅れている」「感染を懸念して利用客が減少」などの状況。県や国の資金繰り支援策について商工会議所と連携し周知を図りたい。

【鈴木】利子補給など市の独自策も検討を。ところで、小中学校の「休校」は、国の指示が二転三転する中での対応であり、担当者の苦勞を察する。一方で、各自治体で対応が異なる状況も把握。今後は柔軟に対応するよう求める。

### 議会に要望し実現へ

#### ぷらっとわらびルート拡充

西ルートでの逆回り、東ルートでの市役所直通、駅前商店街への乗り入れを実現

#### 塚越地域に包括支援センター

来年度開設めざし事業者を募集。実現までがんばります。

### 日本共産党市議団の質問・質疑

今議会、日本共産党市議団は、全員が本会議で発言。代表質問、議案質疑を通して、市民の声を伝えました。

#### やまわき紀子議員

国保税率見直しの国保会計予算に質疑

【山脇】税率見直しについての市長の考えは。

【市長】国や県の方針から苦渋の決断をした。引き続き県内でも低い水準での保険税率を維持していく。



#### 武下涼議員

介護保険特別会計予算の質疑

◆「みんなにわたたく健康で安心して暮らせるまちわらび」の実現について

◆塚越地区における第三地域包括支援センターの開設準備経費の計上



#### 宮下奈美議員

◆錦町区画整理事業特別会計補正予算について、国庫補助金や建物移転などについて

◆病院会計予算について、2019年度の現状と2020年度の見通し、および事業内容について



## 国保税の見直しをする国民健康保険会計予算について質疑

これまで国保税率を県内で一番低い水準に据え置いてきた市の努力を高く評価する。一方で、国の社会保障改悪による国保の広域化で県内でも国保税率統一化の動きや、医療の高度化による医療費の増大によって、蕨市においても国保税率の一定の見直しは避けられない状況にあることも理解すると発言し、見直し後も、市民のくらし、健康を守る立場から、県内でも低い水準を維持できるよう努力を求めました。

【山脇】国民健康保険税の見直しにいたる国・県の動向や背景、本市

におけるこの間の経緯はどうか。

【市民生活部長】国保の広域化の実施や県からは赤字削減計画の提出が義務づけられた。削減すべき赤字額約8億円を23年度までに約2億6千万円を解消する計画。国保運営協議会に諮問し、見直しとの答申をうけた。

【山脇】税率見直しについて頼高市長の考えはどうか。

【市長】国保は市民の健康を守る上でも、国民皆保険制度の重要な要である。保険税率を県内で低い水準に維持することに努力を続けてきたが、国や県の方針から税率改正をお願いするという苦渋の決断をした。国保全体の安定的な運営には国からの財政支援は欠かせない



### やまわき 紀子 のプロフィール

- 1972年わらび生まれわらび育ち
- 現在、市議6期、環境福祉経済常任委員会委員長、原水爆禁止蕨市協議会副会長。保育園、学童、小中高校PTA役員など歴任。
- 住所 南町2-31-14 TEL・FAX446-3129
- 主な活動地域は、南町全域。

困りごとや市政への要望など  
ご相談お受けしています。

HPで情報発信中

いい、繰入金をなくすのも現実的ではない。きちんと意見は言っていく。引き続き、収納率の向上や健康づくり、特定健診受診率の向上など医療費が増大しないよう努力し、引き続き県内でも低い水準での保険税率を維持していきたい。市民の皆さんには市長を先頭に丁寧に説明していきたい。

◆ほかに、特定健診受診率向上にむけての取組強化や、丁寧な相談に応じるよう納税相談の実施を求めました。

### コミバスの南ルート 3・4丁目への拡充と 市役所へ直結



第一便に乗車する山脇市議

### 新年度予算に もりこまれた地域要求

- 交流プラザさくらのエアコン整備（秋工事予定）
- こまどり保育園が小規模保育室へ移行
- 大荒田交通公園・あけぼの公園、三和公園の長寿命化計画を策定
- 第一中学体育館へエアコン整備のための設計委託
- 南公民館2階女子トイレ洋式化
- 蕨駅西口喫煙所廃止
- 高齢者への免許証返納者へ支援

## 日本共産党市議団の 質問・質疑

今議会、日本共産党市議団は、全員が本会議で発言。代表質問、議案質疑を通して、市民の声を伝えました。

### 鈴木さとし議員

市政と予算全体に関する代表質問

- ◆「あったか市政」第2ステージにおける「くらしを支える」課題の位置づけ
- ◆大型事業が続く中で市の財政状況
- ◆新型コロナウイルス対策での要望 など



### 宮下奈美議員

- ◆錦町区画整理事業特別会計補正予算について、国庫補助金や建物移転などについて
- ◆病院会計予算について、2019年度の現状と2020年度の見通し、および事業内容について



### 武下涼議員

介護保険特別会計予算の質疑

- ◆「みんなにわたたく健康で安心して暮らせるまちわらび」の実現について
- ◆塚越地区における第三地域包括支援センターの開設準備経費の計上





## 錦町区画整理事業 特別会計補正予算質疑

### ◆国庫支出金が増額

当初示された国の支出金は約6900万円。その後、国の補正により約5600万円増額されたことが質疑で明らかになりました。今後もしその事業推進を求めていきます。

### ◆建物補償が22棟から30棟へ

この増額分などによる一般会計からの繰入金が増や市債を効果的に活用しながら事業の推進が図られていることも示されました。移転家屋は、当初予定の22棟から8棟を加えた計30棟です。

## 地域医療を守る 蕨市立病院会計予算質疑

### 厚生労働省の突然の発表（2・3面の記事参照）は、市民や医療スタッフの間に不安を広げています。本会議では、市立病院が市内で唯一出産できる中核病院として重要な存在であることを強調し、以下の内容を中心に質疑しました。

### ◆2019年度の現状

事業収益全体で前年度比4・23%の増で推移しているとの説明。患者数は、入院で内科や外科などを中心に2134人増の1万8656人、外来で内科や産婦人科を中心に1851人増で、6万3574人となっています。

## 宮下 奈美のプロフィール

- 1976年生まれ・蕨育ち。
- 市議2期。教育まちづくり常任委員会・副委員長、蕨市立病院審議会委員、蕨市上下水道審議会委員。／社会保障をよくする蕨の会事務局次長、蕨市国際交流実行委員、蕨エルドラド姉妹都市協力会会員、PTA会長・役員など歴任。
- 住所 錦町5-1-8  
TEL211-0922

ブログ（はてなブログ）  
Blog-Nami Miyashita



## 地域要求実現！

### ◆2020年度の見通し

診療報酬の改定や新型コロナウイルス感染症の影響などへの懸念が示されました。また、産婦人科・整形外科・消化器内科の常勤医師確保の必要性も表明されています。



錦町交差点に信号機



2020年3月7日、わらびりんご通りの危険な交差点に信号機が設置されました。西小学校の通学路でもあるため保護者から心配の声が多く2018年9月に校長・PTA（当時私が会長を務める）で信号機設置の要望書を警察へ提出する等の活動を行いました。

## 新年度に盛り込まれた 地域要求

- 錦町3丁目に「蕨錦町ゆたか保育園」開設。
- ぷらっとわらび、錦町・中央を通る西ルートで逆まわり運行（青色のバス）が開設。

## 日本共産党市議団の 質問・質疑

今議会、日本共産党市議団は、全員が本会議で発言。代表質問、議案質疑を通して、市民の声を伝えました。

### 鈴木さとし議員

市政と予算全体に関する代表質問

◆「あつたか市政」第2ステージにおける「くらしを支える」課題の位置づけ

◆大型事業が続く中で市の財政状況

◆新型コロナウイルス対策での要望 など



### やまわき紀子議員

国保税率見直しの国保会計予算に質疑

「山脇」税率見直しについて

の市長の考えは。

「市長」国や県の方針から苦渋の決断をした。引き続き県内でも低い水準での保険税率を維持していく。



### 武下涼議員

介護保険特別会計予算の質疑

◆「みんなにわたたく健康で安心して暮らせるまちわらび」の実現について

◆塚越地区における第三地域包括支援センターの開設準備経費の計上



# 3月市議会 武下 涼 議員 の 質 疑



## 武下 涼 のプロフィール

- ◇1990年生まれ
- ◇現在、市議1期、環境福祉経済常任委員、蕨市消防委員、蕨戸田衛生センター組合議員、消費税をなくす埼玉の会常任世話人
- ◇住所 北町1-13-10
- ◇主な活動地域は、北町全域、塚越1・4・5丁目



たけした涼のTwitter  
https://  
twitter.com/TR\_2814  
活動をリアルタイムに配信



たけした涼のブログ  
http://  
ryo-takeshita.com/  
日々の活動や学んだ気づき、など配信

## 介護保険特別会計予算 新年度事業の特徴および課題

◆「みんなにあなたかく健康で安心して暮らせるまちわらび」の実現について

市が策定する介護保険事業計画（3年間）は、国の事業計画の影響を受けます。2015年の過去最大の介護報酬のマイナス改定以降、介護事業者の倒産が高止まりし、介護現場の人員不足と同時に労働環境は厳しく、国の政策動向を注視する必要があります。

このような状況のもと、市事業計画が最終年度を迎え、基本理念「みんなにあなたかく健康で安心して暮らせるまちわらび」に照らし

て、予算案の特徴、事業計画の到達、新しい事業、昨年度実施の定期巡回・随時対応型事業など12点について質疑しました。

在宅医療・介護、生活支援、認知症総合支援の課題

質疑では、介護分野での近隣市・関係団体との協働を図っていくこと、介護ニーズに对应していくこと、認知症初期集中支援の柔軟な対応を図っていくことなどが示されました。

## 地域要求 新年度予算に反映

▼コミュニティバスぷらっとわらびのルート拡充実現

市内を「ぷらっと」移動できるようにという願いが込められてい

ます。「西ルート逆回り」「東ルートでの市役所直通」の要望や、ルートの拡充といった市民の足として更なる利便性の向上への切実な要望が出されました。党市議団として実現を求め、ついに新年度からルートが拡充されました。



ぷらっとわらび

▼塚越地区・第三地域包括支援センターの開設実現へ前進

塚越地区への「第三地域包括支援センター」の開設に向け、「開設準備経費」を補助する予算が計上されるなど、開設に向けた動きが進んでいます。地域包括支援センターとは、「介護サービスを利用できるのか」「両親の介護が必要かもしれない」といった介護に関する悩みをなんでも相談でき、各種専門家が対応して解決を図ります。予算は計上されましたが、事業者の確定はこれからで、引き続き実現に向け頑張ります。

## 日本共産党市議団の 質問・質疑

今議会、日本共産党市議団は、全員が本会議で発言。代表質問、議案質疑を通して、市民の声を伝えました。

### やまわき 紀子 議員

国保税率見直しの国保会計予算に質疑

「山脇」税率見直しについて市長の考えは、

「市長」国や県の方針から苦渋の決断をした。引き続き県内でも低い水準での保険税率を維持していく。



### 鈴木 さとし 議員

市政と予算全体に関する代表質問

◆「あつたか市政」第2ステージにおける「くらしを支える」課題の位置づけ

◆大型事業が続く中での市の財政状況

◆新型コロナウイルス対策での要望 など



### 宮下 奈美 議員

◆錦町区画整理事業特別会計補正予算について、国庫補助金や建物移転などについて

◆病院会計予算について、2019年度の現状と2020年度の見通し、および事業内容について

